

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 021

事務事業名称	河川改良事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	1.災害に対する備えができています										
	実行計画名	1-3.水施策の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	河川法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等の生命や財産が守れるように必要な河道改修や護岸工事などの河川整備を求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	台風・豪雨などの自然災害に対する被害の抑制・軽減により、準用河川に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安全・安心して生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市が管理する準用河川の現況能力と課題を把握するため、枚方市準用河川整備基本計画を策定し、計画的に河道改修や護岸工事などの整備事業を推進することで、自然災害に強い河川環境の保全を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		準用河川整備が進むにつれて、段階的に隣接・近接する土地に居住する市民・事業者等が安心して生活を送ることができる。				計画通りに準用河川整備を進めることができる。				準用河川整備を実施。			
指標設定	指標説明	準用河川整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の準用河川整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の準用河川整備延長距離×100】				各年度における計画の準用河川整備延長距離 ※事業展開検討中は「0」と表記			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
達成度	0%				0%				0%				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,184	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,184	0	0		
物件費計	10,340	0	0	0		
歳出計	15,524	0	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	10,340	0	0	0		

## 5. 総括的分析

総括的分析	R2年度に実施した枚方市準用河川整備基本計画策定業務委託の結果を部内で共有し、今後の事業展開について検討が必要。(R3年度より継続中)
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	安全確保の観点からの緊急性や整備基本計画に基づいた実行性、健全な財政運営を見込んだ中長期の整備計画に基づく計画性などの視点により財政状況も踏まえた上で総合的に判断し、整備順序や事業化の時期を検討していく。(R3年度より継続中)

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 064

事務事業名称	長尾杉線整備事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部地域の国道307号、国道1号バイパス及びその周辺道路を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国道307号、国道1号バイパスに交通渋滞が発生しており、防災機能が損なわれている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国道307号、国道1号バイパスの交通渋滞が解消され、第二京阪道路へのアクセス道路として、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。				
事業概要	<p>【～平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)牧野長尾線・長尾東町地内と国道307号((都)枚方東部線)・杉責谷地内を結ぶ東部地域の幹線道路として延長約1.7km、幅員14m及び17mの都市計画道路として整備を検討する。</li> <li>・交通量調査や将来の道路ネットワークを検証して、予測交通量を算定するとともに、その結果をもとに道路の規模やルート選定を行い、整備計画を作成する。また、費用対効果を算定した上で都市計画道路としての整備を検討する。</li> </ul> <p>【平成29年度～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(都)牧野長尾線から国道307号まで(L=1,750m、W=14、16m)の都市計画道路整備を行う。</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに長尾杉線の整備を進めることができる。				長尾杉線の整備を実施する。			
指標設定	指標説明					長尾杉線整備事業全体の進捗率				長尾杉線の整備延長距離			
	指標種類	単位				単位 %				単位 m			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					18	40	60	100	437.50	437	437	438
	実績					1	11.89	50		60	148	592	
	達成度	0%				83%				135%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.21
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,454	9,978	9,453		
	会計年度任用職員	429	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,883	10,058	9,453		
	物件費計	185,000	528,463	1,197,577	1,417,100	84.5%
	歳出計	193,883	538,521	1,207,030		
歳入	国庫支出金	61,218	225,702	316,283	243,943	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	102,600	256,100	288,000	1,088,000	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	163,818	481,802	604,283	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	21,182	46,661	593,294	85,157	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>R4年度は着工(320+100+320m)、整備完了(380+360m)。※既整備完了(60m)。地盤状況などにより遅れは生じてはいるものの順調に整備は進んだ。</p> <p>【整備工事契約締結】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.2*100</p> <p>【整備工事完了】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.9*100</p> <p>【舗装工事完了】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.95*100</p> <p>【供用開始】各年度の整備延長距離／整備延長距離*100</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	杉工区は令和5年度内の供用開始に向け整備を進める。また長尾工区についても引き続き整備を進める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 065

事務事業名称	御殿山小倉線整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	中部地域の京阪御殿山駅から小倉東町地区までの周辺道路を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	中部地域の交通網の強化が図られ、安全な交通環境として通学路が確保されている。				
事業概要	・市道渚星ヶ丘線から市道甲斐田三栗線まで(L=840m、W=14m)の都市計画道路整備を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						計画通りに御殿山小倉線の整備を進めることが出来る。				御殿山小倉線の整備を実施。				
指標設定	指標説明					御殿山小倉線整備事業全体の進捗率				御殿山小倉線の整備延長距離				
		単位				単位 %				単位 m				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					17	34	50	68	210	210	210	210
	達成度	0%				100%				199%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,583	6,993	13,280		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,583	7,073	13,280		
	物件費計	173,681	73,390	199,165	933,700	21.3%
	歳出計	179,264	15,463	212,445		
歳入	国庫支出金	6,950	22,280	78,780	144,701	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	142,400	50,500	60,100	767,800	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	149,350	72,780	138,880	912,501	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	24,331	610	60,285	21,199	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>R4年度は着工(245+160m)、整備完了(317m)。 予定どおり整備工事が進んだ。</p> <p>【整備工事契約締結】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.2*100  【整備工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.9*100  【舗装工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.95*100  【供用開始】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*100</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度供用開始に向け整備を進める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 066

事務事業名称	春日大峯線道路拡幅事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道春日大峯線を利用する市民・事業者等			
	サブターゲット	—			
	ターゲットが抱える課題	市道春日大峯線は交通量が多い一方で幅員が狭小であり、円滑な交通の流れとなっていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道春日大峯線を利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	市道春日大峯線の拡幅整備事業を行う。 ◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=120m ◇ 実績延長距離の合計:L=48m ◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に利用する市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				アウトプット (活動結果)	計画通りに道路拡幅整備を進めることができる。				インプット (活動)	道路拡幅整備を実施。			
	指標説明	道路拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離					
指標設定	単位	%				単位	%				単位	m			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	0%				0%				0%					
目標 (見込み)	40	40	40	40	0	0	0	0	0	0	0	0			
実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0				

## 3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

## 5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域の意向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 067

事務事業名称	中振交野線整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	南部地域の府道八尾枚方線及び市道周辺(狭小な道路)を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	地域周辺道路では、地域住民・通学者の通行が多いことや、また通過交通が非常に多く狭小な道路でもあるため、安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	京阪本線連続立体交差と連携した南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。				
事業概要	府道八尾枚方線から市道南中振21号線及び市管理道路まで(L=600m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。 (・開発公社長期保有地があり、買戻しを進めると共に取得済用地の適正な管理を行う。)				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに中振交野線の整備を進めることが出来る。				中振交野線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					中振交野線整備事業全体の進捗率				中振交野線の整備延長距離			
	指標種類	単位				単位 %				単位 m			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					65	70	70	70	120	70	20	0
	実績					61.67	64	68.50		140	14	78	
達成度	0%				98%				390%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.53
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,178	11,157	4,140		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,178	11,237	4,140		
	物件費計	139,442	91,764	50,044	49,000	102.1%
	歳出計	146,620	33,262	54,184		
歳入	国庫支出金	11,666	8,095	11,265	8,800	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	105,400	12,400	8,200	37,000	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	117,066	20,495	19,465	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	22,376	71,269	30,579	3,200	

## 5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は計画延長:L=20m、施工延長:L=27m R4年度の実績は、R3年度関係機関協議や軟弱地盤の影響により対策検討及び工事に時間を要しR4年度に繰越となった工事と併せて、当該年度完了した工事を実施したため、目標値に達した。
-------	--

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	R5年度については、暫定供用開始に向け道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 068

事務事業名称	道路改良整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	法定外公共物や橋梁などの道路構造物を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害等による損傷した道路構造物については安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定外公共物(里道)の改良工事を行う。</li> <li>・市道の維持補修工事に該当しない道路改良工事を行う。</li> <li>・道路構造物(橋梁等)の補強工事を行う。</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	損傷した道路構造物を補修することで、安全で安心な道路構造物を維持できている。	各年度において、計画通りに損傷した道路構造物を補修を行う。				損傷した道路構造物を補修する。							
指標説明	補修を行った道路構造物に対して市民が安全安心に利用できていると感じている割合 【算出式: 要望者などに対し聞き取りを行い、「以前より改善された」と回答した人数/聞き取り回答者数×100】	各年度における補修対象となる整備への対応率 【算出式: 対応件数/補修対象件数×100】				補修件数 (これまで事例をもとにした年間予想件数)							
	単位	%		単位	%		単位	件					
指標種類	減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標								
指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	100	100	100	100	1	1	1	1
達成度	100%				100%				100%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	5,578	2,344		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	5,658	2,344		
	物件費計	18,563	18,302	15,519	16,862	92.0%
	歳出計	20,557	23,960	17,863		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	18,563	18,302	15,519	16,862	

## 5. 総括的分析

総括的分析	事業用地の維持、管理を適切に行ったため、指標の達成度は想定通りであった。
-------	--------------------------------------

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、当課が所管する道路構造物の適正な維持管理を図るため、計画的に補修などを実施していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 069

事務事業名称	牧野長尾線整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1994(H6)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市域北部の府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺に交通渋滞が発生している。また、住宅地内に狭小な道路も多くあり安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	府道 高槻茨木線、JR長尾駅周辺の交通渋滞が緩和され、地域住民の利便性と防災機能の向上や通学路が確保されている。				
事業概要	・八田川バイパスから府道枚方高槻線まで(L=1,450m、W=16m)の都市計画道路整備を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに牧野長尾線の整備を進めることができる。				牧野長尾線の整備を実施。			
指標設定	指標説明					牧野長尾線整備事業全体の進捗率				牧野長尾線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
						17	21	58	58	200	0	350	0
	実績					37.24	53.52	61		0	171	428	
	達成度	0%				105%				122%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

#### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,055	11,471	13,280		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,055	11,551	13,280		
	物件費計	760,401	270,698	503,579	574,000	87.7%
	歳出計	768,456	272,049	516,859		
歳入	国庫支出金	97,717	79,999	43,710	59,481	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	590,600	147,300	39,200	471,700	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	688,317	227,299	82,910	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	72,084	43,399	420,669	42,819	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>R4年度は府道交野久御山線から市道長尾京田辺線までの区間の供用開始 ※市道長尾京田辺線から長尾大池までは供用開始済。 着工(長尾御池部224m) 年度内供用開始をしたことで、目標を上回った。</p> <p>【整備工事契約締結】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.2*100          【整備工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.9*100          【舗装工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.95*100          【供用開始】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*100</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き計画的に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 070

事務事業名称	枚方藤阪線整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1981(S56)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市域中心部と東部地域を結ぶ幹線道路周辺を利用する利用者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	国道307号、府道杉田口禁野線の交通量が多く渋滞も発生しているため、防災機能が損なわれているため安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	国道307号、府道杉田口禁野線の交通網の強化を図り、地域住民の利便性や防災機能が向上されている。				
事業概要	・枚方市駅から府道田口禁野線まで(L=398.5m、W=16～27m)、及び府道杉田口線から国道307号まで(L=4,075.0m、W=12.5～27m)の都市計画道路整備を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに枚方藤阪線の整備を進めることが出来る。				枚方藤阪線の整備を実施する。			
指標設定	指標説明					枚方藤阪線整備事業全体の進捗率				枚方藤阪線の整備延長距離			
		単位				単位 %				単位 m			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	0	0	0	0
実績					0	0	0		0	0	0		
達成度	0%				0%				0%				

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,196	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,196	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	1,196	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

## 5. 総括的分析

総括的分析	道路用地取得に向け地権者と交渉・継続中。
-------	----------------------

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 074

事務事業名称	枚方市駅周辺再整備事業												
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部				課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の商業施設及び交通機関を利用する利用者。			
	サブターゲット	南部地域の交通網の強化を図り、通学路の確保や地域住民の利便性と防災機能が向上される。			
	ターゲットが抱える課題	枚方市駅北口周辺の交通渋滞が発生しており、また医療機関への通院者、通学者等も多く通行しているため、安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備により、安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。				
事業概要	<p>【平成28年度～】</p> <p>枚方市駅周辺再整備ビジョン対象エリアの土地利用や事業手法等の検討を行い、これらと並行して地元検討組織等の設立に向けた支援や関係権利者等との意見交換を行った。また、枚方市駅北口・南口駅前広場の拡充、外周道路の整備、歩行者動線の整備についての概略検討を実施。これらの検討をもとに順次、歩行者動線の整備、エスカレーター設置、外周道路の整備、京阪枚方市駅の高架下利用に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の枚方市駅周辺再整備延長距離の合計:L=385m <ul style="list-style-type: none"> <li>・エスカレーター設置:L=15m</li> <li>・歩行者導線の整備:L=160m</li> <li>・外周道路の整備:L=140m</li> <li>・京阪枚方市駅の高架下利用:L=70m</li> </ul> </li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=15m</li> <li>◇ 各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離 <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度:0m</li> <li>・R4年度:150m(高架下:L=70m、歩行者導線整備:L=80m)</li> <li>・R5年度:120m(歩行者導線整備:L=80m、外周道路整備:L=40m)</li> <li>・R6年度:100m(外周道路整備:L=100m)</li> </ul> </li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路の整備、歩行者動線の整備が進むにつれて、段階的に安全な歩行空間が確保でき、渋滞が解消している。				アウトプット (活動結果)	「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき計画通りに再整備を実施する。				インプット (活動)	枚方市駅周辺の再整備を実施する。			
	指標説明	枚方市駅周辺再整備(所管分)全体の進捗率				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離に対する実績延長距離の割合				各年度における計画の枚方市駅周辺再整備延長距離					
指標設定	単位	%				単位	%				単位	m			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	3.90	3.90	42.85	74.02	100	0	100	100	15	0	150	120		
実績	3.90	3.90	42.85		100	0	100		15	0	150				
達成度	100%				100%				100%						

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,748	5,264	7,812		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,748	5,344	7,812		
物件費計	129,572	8,045	61,529	167,000	36.8%	
歳出計	133,320	13,389	69,341			
歳入	国庫支出金	0	2,000	41,500	41,500	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	84,200	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	84,200	2,000	41,500	41,500	
一般財源（物件費に充当されるもの）	45,372	6,045	20,029	125,500		

### 5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は枚方市駅北通り線高架下道路改良工事の実施、また、外周道路(2工区)においては次年度整備に向けた道路詳細設計委託を実施した。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 075

事務事業名称	北山通線整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-1.道路などの整備の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	2023(R5)年度	年度まで
根拠法令等	都市計画法					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	北山通線周辺道路を利用する利用者。				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	新名神高速道路の開通により、通過交通の増加が予想されている。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	通過交通を円滑にアクセスさせることで渋滞を緩和させ、効率的な物流ネットワークを形成できている。					
事業概要	<p>本路線は、枚方市の北部地域を南北に連絡し、都市計画道路内里高野道線及び令和5年開通予定の新名神高速道路への重要な幹線道路である。この中で大阪府が主体となって進めている内里高野道線整備と連携して整備を行うことで、自動車交通を円滑にアクセスでき、また、他府県との地域レベルの交流を強化することで物流ネットワークを形成することができる。</p> <p><b>【R2】</b> 詳細設計 (L=0.12km , W=12～15m)</p> <p><b>【R3～R5】</b> 整備工事3ヶ年 (L=0.12km , W=12～15m)</p>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画通りに北山通線の整備を進めることができる。				北山通線の整備を実施する。			
指標設定	指標説明					北山通線整備事業全体の進捗率				北山通線の整備延長距離			
	指標種類	単位				単位 %				単位 m			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	33	66	100	0	40	40	40
	実績					0	8	61		0	9.60	97	
達成度		0%				92%				243%			

## 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.28
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

## 4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,589	4,478	2,187		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,589	4,558	2,187		
	物件費計	3,120	61,887	77,240	0	
	歳出計	6,709	66,445	79,427		
歳入	国庫支出金	3,120	24,810	15,410	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	27,300	12,100	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,120	52,110	27,510	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	9,777	49,730	0	

## 5. 総括的分析

総括的分析	<p>R4年度は整備工事完了(48+60m)          予定通り整備工事を進めたが、わずかに目標達成出来なかった。          【整備工事契約締結】各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.2*100          【整備工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.9*100          【舗装工事完了】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*0.95*100          【供用開始】 各年度の整備延長距離／整備延長距離*100</p>
-------	---

## 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度内の路線切り替えに伴う整備を進める。残地利用についての検討を進める。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 084

事務事業名称	交通バリアフリー道路整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等			
	サブターゲット	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	高齢者・障害者等が通行するにあたり、バリアフリー化が実現できていない歩道がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	<p>高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づく「枚方市バリアフリー基本構想」、「星ヶ丘・村野駅周辺地区バリアフリー基本構想」により策定した道路特定事業計画により、重点整備地区5地区の生活関連経路のうち市道に関するバリアフリー化(歩道段差解消、勾配改良、誘導ブロック設置等)の整備を図る。</p> <p>◇計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計:L=2,570m (5重点整備地区)                  ・御殿山駅周辺地区:L=1,010m、宮之阪駅周辺地区:L=540m、牧野駅周辺地区:L=570m、津田駅周辺地区:L=150m、星ヶ丘駅・村野駅周辺地区:L=300m</p> <p>◇実績延長距離の合計:L=520m                  ・H30年度:200m、R1年度:130m、R2年度:190m</p> <p>◇各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離                  ・R3、R4年度(債務設定):350m(R3:120m、R4:230m)                  ・R5年度:290m</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	各重点整備地区のバリアフリー化が進むにつれて、段階的に鉄道駅及びその周辺における重点整備地区内の特定経路を利用する高齢者・障害者等の誰もが安心して安全快適に利用できている。				アウトプット (活動結果)	計画通りにバリアフリー道路整備を進めることが出来る。				インプット (活動)	バリアフリー道路整備を実施。			
	指標説明	バリアフリー道路整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画のバリアフリー道路整備延長距離の合計×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離×100】				各年度における計画のバリアフリー道路整備延長距離					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	20	24.90	33.85	45.13	100	100	100	100	190	120	230	290		
	実績	20	24.90	33.85		100	100	100		190	120	230			
達成度	100%				100%				100%						

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.61
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,380	2,986	4,765		
	会計年度任用職員	0	53	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,380	3,039	4,765		
物件費計	24,803	25,160	40,486	57,800	70.0%	
歳出計	31,183	28,199	45,251			
歳入	国庫支出金	5,000	5,193	22,000	25,700	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	13,400	3,800	16,200	26,800	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	18,400	8,993	38,200	52,500	
一般財源（物件費に充当されるもの）	6,403	16,167	2,286	5,300		

### 5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度は想定通りであった。 宮之阪周辺地区：禁野第3号線（延長距離：L=530m）の整備工事（R3-R4債務負担）を完了した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、財政状況等を勘案し計画的にバリアフリー化整備事業を進めていく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 085

事務事業名称	市道尊延寺穂谷線拡幅事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童			
	サブターゲット	市道尊延寺穂谷線を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	市道尊延寺穂谷線の幅員が狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道尊延寺穂谷線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道尊延寺穂谷線の拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の道路拡幅整備延長距離の合計:L=290m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=133m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		道路拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに道路拡幅整備を進めることができる。				道路拡幅整備を実施。			
指標設定	指標説明	道路拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の道路拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の道路拡幅整備延長距離			
		単位		%		単位		%		単位		m	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	46	45.86	45.86	45.86	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0	
	達成度	0%				0%				0%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

### 5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 086

事務事業名称	踏切道(交野・第一藤阪)拡幅事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童			
	サブターゲット	市道王仁公園前線を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	市道王仁公園前線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道王仁公園前線を徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道王仁公園前線(第一藤阪踏切)の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の歩道拡幅整備延長距離の合計:L=56m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=35m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路拡幅整備延長距離:各年度未定</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				計画通りに歩道拡幅整備を進めることが出来る。				歩道拡幅整備を実施。				
指標設定	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の歩道拡幅延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅延長距離×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離			
		単位		%		単位		%		単位		m	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	0%				0%				0%			
	目標 (見込み)	62.50	62.50	62.50	62.50	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0	

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備対象区画における、すべての用地を取得できる。				踏切道(交野・第一藤阪)拡幅整備に係る用地取得を実施。			
指標設定②	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積			
		単位		%		単位		%		単位		㎡	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	62.50	62.50	62.50	62.50	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	達成度	0%				0%				0%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	0	0	

### 5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地権者の動向や財政状況等を勘案し、事業の着手(再開)時期を検討していく。

事務事業名称	自転車通行空間整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民			
	サブターゲット	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を自転車で利用する市民等			
	ターゲットが抱える課題	歩行者と自転車の錯綜により安全に通行できない環境である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車で利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	枚方市自転車活用推進計画に位置付けられた枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画に基づき、歩道を走行する自転車を車道に誘導し、安全で快適な自転車の通行空間及び歩行空間の整備を図る。 ◇ 計画の自転車通行空間整備延長距離の合計:L=32,600m ・北部地区:L=9,400m、中部地区:L=5,800m、東部地区:L=6,000m、南部地区:L=11,400m ◇ 実績延長距離の合計:L=3,450m ・H30年度:2,500m、R1年度:750m、R2年度:200m ◇ 各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離 ・R3年度:1,480m ・R4年度:1,410m ・R5年度:1,700m				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																														
	自転車通行空間整備が進むにつれて、段階的に自転車ネットワーク路線に位置付けられた市道を徒歩で利用する市民及び自転車で利用する市民等が安心して安全快適に利用できている。	計画通りに自転車通行空間整備を進めることができる。	自転車通行空間整備を実施。																														
指標設定	指標説明	各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離の合計/計画の自転車通行空間整備延長距離の合計×100】	各年度における計画の自転車通行空間整備延長距離																														
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																														
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	%	R2			R3			R4			R5			<table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>m</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	m	R2			R3			R4			R5		
		単位	%																														
	R2																																
R3																																	
R4																																	
R5																																	
	単位	m																															
R2																																	
R3																																	
R4																																	
R5																																	
目標 (見込み)	10	15.12	19.44	24.66	100	100	100	100	200	1,480	1,410	1,700																					
実績	10	13.70	24.83		100	67.57	258		200	1,000	3,640																						
達成度	128%				258%				258%																								

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.61
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,380	4,321	4,765		
	会計年度任用職員	0	80	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,380	4,401	4,765		
物件費計	7,784	23,909	35,923	40,000	89.8%	
歳出計	14,164	28,310	40,688			
歳入	国庫支出金	2,000	4,700	17,600	17,600	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	5,100	3,400	12,900	20,100	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	7,100	8,100	30,500	37,700	
一般財源（物件費に充当されるもの）	684	15,809	5,423	2,300		

### 5. 総括的分析

総括的分析	楠葉中宮線(延長距離:L=310m)、長尾船橋線(延長距離:L=750m)、牧野長尾線(延長距離:L=2,100m)の整備工事に着手し完了した。また、繰越しとなっていた都 牧野長尾線(延長距離:L=480m)の整備工事も完了した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、財政状況等を勘案し、他事業との調整や連携を図りながら計画的に自転車通行空間整備事業を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 097

事務事業名称	中宮区第33号線他歩道フラット化整備事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち									
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生			
	サブターゲット	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で利用する市民・事業者等			
	ターゲットが抱える課題	中宮区第33・34号線の歩道の段差により通学児童をはじめとする歩行者の安全確保が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道中宮区第33・34号線の歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、中宮区第33・34号線の歩行空間を確保する等の道路空間再配分事業を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 計画の道路空間再配分整備延長距離の合計:L=630m</li> <li>◇ 実績延長距離の合計:L=0m</li> <li>◇ 各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離                             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期工事:L=180m(未定)</li> <li>第2期工事:L=260m(未定)</li> <li>第3期工事:L=190m(未定)</li> </ul> </li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	道路空間再配分整備が進むにつれて、段階的に歩道を徒歩で小学校に通う児童及び学生並びに市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。	計画通りに道路空間再配分整備を進めることができる。	道路空間再配分整備を実施。
指標設定	指標説明	各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離×100】	各年度における計画の道路空間再配分整備延長距離
		単位 %	単位 m
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	達成度	0%	0%

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	0	0	0			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

### 5. 総括的分析

総括的分析	今後の事業展開について検討が必要である。
-------	----------------------

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	他事業との調整や連携を図るとともに財政状況等を勘案し、事業の着手時期を検討していく。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 098

事務事業名称	歩道拡幅整備事業(枚方新香里線)											
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち										
	実行計画名	4-2.交通安全対策の充実										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	2022(R4)年度	年度まで
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市道枚方新香里線を徒歩で小学校に通う児童				
	サブターゲット	市道枚方新香里線を徒歩で利用する市民・事業者等				
	ターゲットが抱える課題	市道枚方新香里線の歩道に狭い場所があり、通学路の安全確保ができていない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市道枚方新香里線の歩行空間の確保により、徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安全・安心して円滑に移動することができる。					
事業概要	<p>子どもの安全確保に資するため通学路に加え未就学児の移動経路を含めた安全確保を図ることを目的に策定された枚方市子どもの交通安全プログラムに基づき、市道枚方新香里線の歩道拡幅整備事業を行い、通学路の安全確保を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度:詳細設計</li> <li>・R3年度:用地取得予定(面積:約125㎡)</li> <li>・R4、R5年度:整備工事予定(延長:約142m)</li> </ul>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				アウトプット (活動結果)	計画通りに歩道拡幅整備を進めることができる。				インプット (活動)	歩道拡幅整備を実施。			
	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離に対する実績延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離×100】				各年度における計画の歩道拡幅整備延長距離					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	%			単位	%			単位	m				
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	0	0	49.30	100	0	0	100	100	0	0	70	72		
達成度	100%				100%				100%						

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		歩道拡幅整備が進むにつれて、段階的に徒歩で小学校に通う児童及び市民・事業者等が安心して安全快適に利用できている。				歩道拡幅整備に係るすべての用地を取得できる。				歩道拡幅整備に係る用地取得を実施。			
指標設定②	指標説明	歩道拡幅整備事業全体の進捗率【算出式:実績延長距離の合計/計画の歩道拡幅整備延長距離の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合【算出式:実績用地取得面積の合計/歩道拡幅整備用地取得面積の合計×100】				歩道拡幅整備用地取得面積			
		単位		%		単位		%		単位		m <sup>2</sup>	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	49.30	100	0	100	100	100	0	125	0	0
	実績	0	0	49.30		0	100	100		0	125	0	
達成度	100%				100%				100%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.51
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,184	2,907	3,984		
	会計年度任用職員	0	27	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,184	2,934	3,984		
	物件費計	1,350	8,148	9,592	25,392	37.8%
歳出計		6,534	11,082	13,576		
歳入	国庫支出金	1,350	2,200	4,510	11,275	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	1,600	3,300	12,100	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		1,350	3,800	7,810	23,375	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	4,348	1,782	2,017	

### 5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は歩道拡幅整備工事に着手し、R5年度の完了に向けて工事を進めている。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、歩道拡幅整備工事(R4-R5債務負担)を進めていく。

# 事務事業実績測定調査

R4調書番号 099

事務事業名称	高田8号線道路拡幅事業												
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部				課	道路河川整備課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち											
	施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち											
	実行計画名	道路などの整備の推進											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	R4年度(2022年度)	年度まで
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市道高田8号線周辺道路を利用する者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	<p>枚方市道高田8号線を拡幅整備しないと交野市施行の(都)星田駅前線が接続する府道枚方交野寝屋川線の交差点部に信号機が設置されない。</p> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺の土地区画整理事業内で建設中の物流拠点施設の開設等により往來の増加が予測される</li> <li>●往來が増加すると交通環境の悪化の危険性が高まる怖れがあることから、安全性の確保のため信号機による交通コントロールが必要</li> <li>●信号機が設置されない場合は、(都)星田駅前線から府道並びに府道から(都)星田駅前線への右折ができない交差点の利用形態となり、利便性の低下や第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への交通アクセスの悪化が予測される</li> </ul>				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市道高田8号線を拡幅し、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置されることで利用者などの安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスを形成できている。					
事業概要	<p>本事業は主に交野市域内で施行中の土地区画整理事業と交野市施行の(都)星田駅前線の道路整備事業に関連した枚方市道高田8号線の道路拡幅を行う。</p> <p>このなかで、本市が交野市施行の道路整備事業と連携して枚方市道高田8号線の道路拡幅を整備することで、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、利用者などの安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスなど更なる交通環境の確保を図るものである。</p>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	高田8号線の整備が進むにつれて、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスが形成できている。				アウトプット (活動結果)	計画通りに高田8号線の整備を進めることで交差点に信号機が設置される。				インプット (活動)	高田8号線の整備を実施する。			
	指標説明	高田8号線整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の高田8号線整備延長距離の合計×100】				各年度における計画の高田8号線整備延長距離に対する実績整備延長距離の割合 【算出式:実績延長距離/各年度における計画の高田8号線整備延長距離×100】				各年度における計画の高田8号線整備延長距離					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	100%				100%				100%					

		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
ロジックモデル②		高田8号線の整備が進むにつれて、府道枚方交野寝屋川線との交差点部に信号機が設置され、安全性の確保と利便性の向上に加え、第二京阪道路一般部副道をはじめJR星田駅方面への円滑な交通アクセスが形成できている。	拡幅整備に係るすべての用地を取得できる。				拡幅整備に係る用地取得を実施。						
指標設定②	指標説明	高田8号線整備事業全体の進捗率 【算出式:実績延長距離の合計/計画の高田8号線整備延長距離の合計×100】	拡幅整備用地取得面積の合計に対する実績用地取得面積の合計の割合 【算出式:実績用地取得面積の合計/拡幅整備用地取得面積の合計×100】				拡幅整備用地取得面積						
		単位	%		単位	%		単位	m <sup>2</sup>				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	0	100	-	-	0	100	-	-	0	100	-
	実績	-	0	100	-	0	100	-	-	0	100	-	
	達成度	100%				100%				100%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.61
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	3,929	4,765		
	会計年度任用職員	-	53	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	3,982	4,765		
	物件費計	-	0	30,997	32,000	96.9%
	歳出計	-	3,982	35,762		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費に
	府支出金	-	0	0	0	ついては、人員配置
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	をもとに平均人件費
	市債	-	0	0	0	を乗算しています。
	その他	-	0	0	0	※「歳入」欄には物件
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	0	0	0	費に充当されるもの
	一般財源(物件費に充当されるもの)	-	0	30,997	32,000	のみを記載していま

### 5. 総括的分析

総括的分析	R4年度は(都)星田駅前線の供用開始に合わせ整備完了した。
-------	-------------------------------

### 6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取り組み方針	(都)星田駅前線の供用開始に合わせ整備完了した。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 581

事務事業名称	橋梁長寿命化修繕事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができています									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	橋梁を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	橋梁を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。			
	ターゲットが抱える課題	橋梁を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、橋梁を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	平成24年度に策定した枚方市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全並びに、維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修や耐震基準に基づく耐震補強工事を行う。また、令和2年度の計画見直しにより補修が必要と判断された31橋についても、計画的に工事を行う。 【H24 計画】 H25～R2 施工数 N=35橋 【R2 更新計画】 R3～R12 施工数 N=31橋				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						橋梁が適切に維持管理できている。				橋梁長寿命化に向け、必要な修繕を行う。			
指標設定	指標説明					橋梁長寿命化計画における各年度の進捗率 【算出式: 修繕済橋梁数/計画修繕予定橋梁数×100】				修繕橋梁数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					-	100	100	100	-	6	5	2
	実績					-	100	100		-	6	5	
達成度						100%				100%			

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.92
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	3,536	7,187		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	3,536	7,187		
物件費計	-	60,016	69,782	32,000	218.1%	
歳出計	-	63,552	76,969			
歳入	国庫支出金	-	12,980	20,950	10,051	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	11,100	13,500	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	24,080	34,450	10,051	
一般財源（物件費に充当されるもの）	-	35,936	35,332	21,949		

### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>防災上、道路ネットワーク上において重要な路線と位置付ける141橋梁について、枚方市橋梁長寿命化計画に基づき、予防保全並びに維持管理費の縮減と平準化を図るため、構造物の劣化補修並びに耐震基準に基づく修繕補強工事を行っている。令和4年度は、5橋の修繕工事を実施した。</p> <p>本事業は、国の交付金を活用して実施しており、今後も枚方市橋梁長寿命化計画に基づき修繕補強工事を実施していく。</p>
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	計画予定修繕橋梁を実施できるように、今後も交付金の活用を積極的に行い修繕補強工事を行う。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 585

事務事業名称	主要道路リフレッシュ整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		4.安全で快適な交通環境が整うまち								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称	社会資本整備総合交付金			サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の主要幹線道路を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	市内の主要幹線道路を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	市内主要幹線道路は交通量も多く、道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞り、事故も増える。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進み、事故も減っている状態。				
事業概要	開通時からの利用状況の変化に舗装構成が合わなくなった主要幹線道路の12路線に対して、地盤等の調査結果を基に、現在の利用状況にあった舗装構成に改築及び更新(リフレッシュ整備)を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						計画的に整備延長を修繕できている。				市内の主要幹線道路12路線のうち、路面損傷や支持力等の調査の上、リフレッシュ整備を行う。			
指標設定	指標説明					計画予定延長のうち、整備延長の割合 【算出式:整備延長/計画予定延長×100】				主要路線の整備延長			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					38	38	38	38	1,090	1,090	1,100	1,100
	実績					18	17	136		200	740	1,501	
達成度	0%				358%				136%				

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.97
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,374	3,614	7,578		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,374	3,614	7,578		
物件費計	99,198	118,865	254,379	0		
歳出計	107,572	122,479	261,957			
歳入	国庫支出金	37,600	48,554	106,500	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	59,700	64,400	106,400	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	97,300	112,954	212,900	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,898	5,911	41,479	0		

### 5. 総括的分析

総括的分析	安全で快適な道路環境の確保を図るため、主要幹線道路や都市計画道路など12路線の路面の補修等を行うリフレッシュ整備を計画的に推進している。令和4年度は、中宮津田線・楠葉中宮線・長尾船橋線の3路線の舗装修繕工事及び楠葉中宮線・杉尊延寺線の2路線の修繕設計委託を実施した。
-------	---

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	計画予定延長を実施できるように、今後も交付金(加速化対策)の活用を積極的に行い整備を行う。

# 事務事業実績測定調書

R4調書番号 885

事務事業名称	道路河川整備課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	土木部			課	道路河川整備課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	他部署との連絡調整、課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行う。				
事業概要	行政評価及び事業計画等に関する事務 ・庁内外への照会・回答処理事務 ・財務会計事務 等				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

### 3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

### 4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,067	5,028	8,203		
	会計年度任用職員	257	53	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,324	5,081	8,203		
物件費計	310,523	11,489	12,725	12,375	102.8%	
歳出計	314,847	16,570	20,928			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	310,523	11,489	12,725	12,375		

### 5. 総括的分析

総括的分析	他部署との連絡調整及び課内での情報の共有化を行い適正かつ迅速に業務を行った。
-------	--

### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正かつ迅速に業務を行っていく。